



茨城ワイズメンズクラブ
2022 年度-2023 年度
10 月報 Vol.182
強調月間テーマ

EMC-E・YES

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題 「Let Your Shine」
アジア太平洋地域会長主題..... 「Be the light for change」
東日本区理事主題..... 「未来のために今、学びと気づきを！」
関東東部部長方針..... 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
茨城クラブ会長主題..... 「原点回帰」

<例会プログラム>

と き:2023 年 10 月 6 日(金)
19:00~21:00(最大)
と こ ろ:筑波学園教会 教育会館
zoom によるハイブリッド開催
zoom によるリモート開催

- 司 会:熊谷光彦
開会挨拶と点鐘:熊谷光彦
ワイズソング:(リモート開催時はスキップ)
ワイズ信条:(リモート開催時はスキップ)
1、自分を愛するように隣人を愛そう
1、青少年のために YMCA に尽くそう
1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとうろ
1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・祈祷:熊谷光彦
懇談会:既存会員の自己紹介
新会員との懇談
今後の計画案
その他

ハッピーバースデー &
おめでとう結婚記念日:
スマイル:(リモート開催時はスキップ)
茨城 Y M C A 報告:和田賢一
次回例会案内:熊谷光彦
閉会挨拶と点鐘:熊谷光彦

☆今月の聖句☆

兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

(コリントの信徒への手紙 1 13 章 11 節)

「YMCA と私」

茨城 YMCA 沖田美樹(ミキティー)

初めまして。つくばオリーブ保育園副園長の沖田です。私は茨城 YMCA が設立当時から行っている幼児教育プログラム「つぼみグループ」の講師として 1999 年 4 月より働き始めました。YMCA との私自身の繋がりをとといいますと、私の伯父夫婦が沼津ワイズメンズクラブの設立時のメンバーであったため私は、もの心ついた時からワイズメンズクラブの青と赤のステッカーが貼ってある車に乗ってあちこちに出かけていました。いつも東山荘で行われる家族例会では、故牟田梯三さんとお餅つきをしたり、高校生のときは夏のキャンプ(学校行事)で建て替え前の YMCA キャンプ場に泊まったり、なんと！従兄弟の結婚式では懐かしい YMCA ホテルに泊まったり…。(次ページに続く)



一番前でのピースが私です

YMCA は私の生活の中に普通に存在していました。しかし、そんな YMCA で自分が働くことになるとは、当時想像もしていませんでした。

茨城 YMCA とご縁があって働き始めた私ですが「石の上にも三年」、とりあえずは3年勤めてみましょうと始めた茨 Y でのお仕事でした。しかし今となっては四半世紀近く、結婚生活の次に長くなっています。

私が働き始めた頃の幼児教育プログラムは、週3回・1年間のプレ幼稚園スタイルでした。名前も「クラス」とは呼ばず「グループ」と呼んでいて、このつくばの土地柄で外国籍のお子さんも多く、様々なイベントや親子で楽しめるプログラムも取り入れて、ボランティアの大学生も度々保育のお手伝いに来てくれて、茨城 YMCA のスローガンにある「ともに歩む family」そのものでした。当時は、働いているお母様はまだまだ少なく、降園後には前の公園でお子さんを遊ばせながらお母様同士のコミュニケーションを取っていたようです。時には子育ての相談を受け、じっくりお話しをしたり、先輩ママとしてのアドバイスをさせて頂いたりもしていました。卒園後に遊びに来てくださったり、「ずっと Y と繋がっていたい！」とボランティアをして下さったりする方も沢山いました。実は今の幼保事業で働いて下さっている先生の半分は、卒園生のお母様でもあります。

そんな小さなつぼみグループでしたが、時代の流れや茨城 YMCA の大きな成長と共に進化していきながら、今では2つの保育園を持つ幼保事業にまでになりました。あまりのスピードの速さに追いついて行けない私でしたが、それでも宮田総主事の壮大なビジョンに参加させて頂きながら、今も茨 Y で働いています。現代の親御さん達には何を伝えてあげたら良いのか…。今の子ども達にはどんな保育をしたら良いのか…。そして現場の先生達にとって私の出来ることは何なのか…。日々考え、悩みながら、もう少し茨城 YMCA で楽しい人生を過ごしていきたいと思っています。皆様、私を「茨 Y の生きた化石！」なんて呼ばないでくださいね。そして一言…「やっぱり私は茨 Y が大好き！」

【例会報告】

9月例会は、1日に筑波学園教会の礼拝堂にてハイブリッド(zoom)開催いたしました。関東東部から3名の役員(長尾部長、高田書記、大澤会員増強主査)と親クラブの東京ひがしクラブから金丸会長をお招きし、賑やかな例会となりました。今回は茨城クラブにとって久しぶりの明るい節目の回に、いちどに3名の新たなメンバーをお迎えする素晴らしい例会となりました。伊藤さん、石元さん、今井さん、3名の新入会者に壇上に立っていただき、厳かな中にも楽しさのある入会式を執り行うことができました。



例会後には、柳瀬カレーとカイチョー唐揚げをメインの食事会がもたれ、なごやかな中で入会者のみなさんに簡単な自己紹介をしていただきました。伊藤さんは、盛岡で牧師をされておられたときに評議員として盛岡 YMCA とかかわり、その後福島県の児童養護施設「社会福祉法人堀川愛生園」の園長を10年、現在は茨城 YMCA がつくば市の指定管理として運営しているつくば市大曾根児童館「なかよし館」の館長として多忙な中、日本キリスト教団石岡教会の協力牧師もしておられます。盛岡ワイズメンズクラブのチャーターメンバーだったとお聞きし、巡り合わせの妙にも驚かされました。石元さんは、つくばという土地と茨城 YMCA とサッカーに育てられたとのことで、大手広告代理店勤務を経て現在はプロバスケットボールクラブ「東京ユナイテッド」の代表取締役社長をされています。中学、高校、大学生時代にはアメリカや日本で様々なスポーツの様々なあり方にボランティアとしてかかわったことから、スポーツを ICT 技術でほかの分野の産業や活動とつなげて地域コミュニティを育ててゆく新しいアイデアをいつも考えておられるそうです。今井さんは、幼少の頃からつくばで育ち、小学生の頃(ちょうど茨城 YMCA の草創期1990年代後半から2002年にかけての頃)は茨城 YMCA のキャンプ等に参加し、その後もユースクラブ等で活動し、高校卒業後は時にはボラン

ティアリーダーとして時には学生リーダーたちのよき兄貴分、相談相手として茨城 YMCA にずっと関わり続けてこられた方です。今年、勤め人を卒業して茨城 YMCA 新拠点と近接した場所に独立開業を果たしたタイミングで入会していただくこととなりました。

これら3名の力強い新メンバーを迎えて、茨城クラブは新たな方向を向いて今までよりさらに「茨城 YMCA のためになにができるか」ということを突き詰めて活動をしていきたいと考えております。

9月例会(ハイブリッド開催)出席状況

会員:6名(稲本修一、熊谷光彦、宮田康男、村田淳、柳瀬久美子、和田賢一)、新入会員:3名(石元龍太郎、伊藤信彦、今井靖)、ゲスト4名(大澤和子、金丸満雄、高田一彦、長尾昌男)、スタッフ:1名(大澤秋太郎)、リーダー:0名、奏楽ゲスト:1名(熊谷裕子)、出席総数:15名、在籍者会員数:11名、会員出席率:82%

(書記 村田)

【事務報告】

会計報告(9月1日~10月5日)

前月繰越金	¥8,615-
事務用品	△¥176-
例会食事材料費	△¥3,000-
スマイル等	¥7,600-
寄付献金	△¥1,000-
借入金	¥50,000-
関東東部部費	△¥54,000-
振込手数料	△¥165-
次月へ繰越	¥7,874-

会員のみなさまにおかれましては、会費の前納にご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

【茨城 YMCA 報告】

9月の報告

- 1日 幼保園2学期開始、願書配布
- 4日 早天祈祷会
- 6日 ディキャンプクラブ・キャンプ担当者会
- 7日 主任会
- 8日 幼保園願書締め切り
- 9日 4・5歳児ディキャンプクラブ
わんぱくクラブ
- 11日 ウェルネス研修会
- 12日 職員礼拝・職員会

- 13日 幼保園新入園児面接
- 14日 チャリティーラン委員会
- 16~18日 オータムキャンプ
- 23日 小学生ディキャンプクラブ
つくわいクラブ
- 23~24日 みどりの学童お泊り会
- 24日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ
- 30日 アルティメットプログラム
- 30日~ ファミリーキャンプ

10月の予定

- ~1日 ファミリーキャンプ
- 2日 早天祈祷会
- 4日 チャリティーラン委員会
- 5日 主任会
- 7~8日 ひかりの子キャンプ
- 7日 東新井オリーブ園、幼保園運動会
- 10日 職員礼拝・職員会
- 14日 アルティメットプログラム
東新井、牛久、みどりの学童総会
- 21日 アルティメットプログラム
- 28日 チャリティーバザー
牛久チャリティーバザー

11月の予定

- 11日 大曾根児童館まつり
- 15日 チャリティーゴルフ
- 18日 第9回チャリティーラン(洞峰公園)
(連絡主事 和田)

【編集後記】

史上最も暑い夏が終わったと思ったら、史上最も暑い残暑に見舞われ続けたこの9月でした。ようやく10月の声を聞くとともに涼しい日が増えて、やっと心から落ち着いているところです。

うちの子が去年から少年野球をはじめているのですが、この暑さのなかでは大変です。練習ごとの氷や飲み物の用意。暑さ対策グッズの用意。真夏などはとくに運動してもよい限界を超えている気候のはずですが、どうなっていくのでしょうか。

今年の夏の甲子園では、慶応高校が、エンジョイ・ベースボールの精神を掲げながら全国制覇を遂げました。時代は着実に変わってきています。一方で、いままで噂はさんざん流れていたものの、暗黙の了解として扱われてきた(ある意味ではメディアも共犯だった?)ジャニーズ事務所の醜聞は、ここにきて一気にその問題を問われることに



名古屋名物あんかけスパ

なりました。これまで良いとされてきたこと、黙認されてきたことも、許されない世の中になり、いつしか当たり前とされていたこと、気にも留めてい

なかったようなことが、しっかりと問題視される世の中に移り変わってきました。

新しいメンバーを迎えるにあたって、「ワイズの当たり前は、果たして世間の当たり前だろうか？」と自問自答する日々です。

(書記 村田)

あれは8月8日、私は暑さの中で垣根のヒラギの刈り込みを行ってました。突然飛び出してきたスズメバチに、私は左肩を刺されてしまいました。スズメバチは、はじめてでしたので抗体検査を受けたところ、検査の結果は陰性でした。腫れが引いてきたので、そして巣の駆除が完了してか



2度目のときの蜂の巣

ら数週間たったので、残りの部分の刈り込み作業を開始しました。すると9月29日にまた、今度は左手の甲をスズメバチに刺されてしまいました(2回目が危険!

と言われていますが、検査で陰性だったので、カウンタがリセットされ1回目です)。

前日も今回も衣服だったり作業手袋の上からだったり直接ではなく、また瞬時に蜂を振り払ったのでチクリと感じた程度でしたが、左肩も手の甲もだんだんと腫れと痛みが大きくなってゆきました(抗体ができてしまった人の話では、刺されたときに、注入されるような感覚があったそうです)。刺された痛みは数時間で消え、その後は痒みに悩まされることになりました。まるで巨大な蚊に刺されたかのように、痒さで夜中に目を覚まし、かゆみ止めを塗る日が数日続きました。

スズメバチに2回目以降に刺されたときに起こることのあるアナフラキシーショックは、呼吸困難や血圧の低下が起こり、数時間で死に至ることもあるという危険な



ショック症状です。そのようなときには、エピペンという補助治療剤をすぐに使用することで、重症化を防げるとされています。そのエピペンというのは、アドレナリンを自身の体内に自分で注入するための器具です。

さて、抗体検査の時に医師から興味深いアドバイスをいただきました。それは「病院に着くまでは、ずっと怒っていなさい」でした。つまり、自分でアドレナリンを出す努力をなささいということです。その医師も以前に、山の中でスズメバチに、3か所も同時に刺されたことがあるそうで、そのときその医師は「こんちくしょー、ばかやろー」を繰り返して叫びながら病院へ向かったそうです。効果があったかどうかは不明とのことでしたが、私は戦闘モードになるイメージトレーニングをやってみようかと思いました。

(会長 熊谷)

いざ立て

ONCE MORE WE STAND

(フィンランディア) より

淵田多穂理 訳詞

Words by Presu. Emeritus Paul Wm. Alexander

1. いざたて、こころあつ
 2. うたえば、こころひと
 1. Once more we stand, New zeal our hearts im
 2. As now we sing, In com-rade -ship more

くし — 手をあげち かいあら
 つに — ともがきひ ろがりゆ
 bu ing ; — ; we raise our hand, Our ser - vice pledge re -
 bind ing ; — ; Our love we bring, Re - ward in friend - ship

たに われらのモットーまもる
 きて とおきもちかきもみな
 new-ing, Ne'er-to de - ny our — mot - to's — claim
 find-ing. To ev'-ry Y's men — far. and — near

— ふさわし、そのなワイズメン
 — ささげて、たつやワイズメン
 — Y's men in Fact as well — as name.
 — we pledge de vo tion most — sin cere.

たえせず、めあてのぞみ
 さかえと、ほまれゆたか
 Al - ways our ob - jects — to pur — sue
 Glo - ry and pride Y's — men to — be

— こみをは ささげつくさん。
 — まことはむねにあふれん。
 — we con - se - crate our selves. — anew.
 — Fill ev'-ry heart with loy - al - ty.